

電気電子工学委員会・総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：I F A C分科会

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | ○電気電子工学委員会 総合工学委員会 |
| 2 | 委員の構成 | 25名以内の会員又は連携会員 |
| 3 | 設置目的 | <p>国際自動制御連盟 I F A C (The International Federation of Automatic Control)は、制御工学分野において最も由緒正しい世界的学術団体である。I F A Cの会員は国であり、現在日本は最も高いCategoryの会員となっている。日本学術会議はI F A CのJapan NMO (National Member Organization)となっており、本I F A C分科会がI F A Cの会員としての様々な活動を行っている。具体的には、General Assemblyへの参加(議決権を有する)、I F A CのOfficerやTC (Technical Committee)の委員の推薦・派遣、国際会議(Conference, Symposiumなど)の企画・開催などを行い、国際的な学術交流に寄与する。また、制御工学に関する様々な技術課題の検討を行うとともに、自動制御に関する国内の多分野交流の場である自動制御連合講演会の企画・運営を行う。なお、これまでの活動で3年ごとに開催されているI F A C World Congress (世界大会)の日本への誘致に成功し、2023年の世界大会(I F A C 2023)を横浜で開催することが決定し、日本から会長が選出された。</p> <p>制御工学は学際領域をカバーする学術横断的分野である。本分科会では、2023年I F A C世界大会の準備・開催を行うとともに、I F A Cを中心としたこれらの活動を通じて、制御工学に関する学術的な連携を強化し、その深化、発展に貢献する。</p> |
| 4 | 審議事項 | <p>1. I F A CのJapan NMOとしての活動 2. 自動制御に関連する学術的活動(含自動制御連合講演会等) 3. I F A C World Congress 2023開催の準備・開催に係る審議に関すること</p> |
| 5 | 設置期間 | 令和2年10月29日～令和5年9月30日 |
| 6 | 備考 | ※事実上24期より継続 |